



# 日進北小だより

令和4年5月2日 5月号 第2号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標：心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する  
～やる気を育む日進北小・授業が楽しい日進北小～



## 授業が楽しい日進北小

校長 平塚 信也

「さいたま市小・中一貫教育」の、より一層の充実のために「さいたま市小学校教科担任制」が令和5年度から全面実施されます。これは中学校で始まる教科ごとに違う教員が教える形態の小学校版です。本校では1年前倒しで実施を始めています。5年生・6年生のみですが、国語はそれぞれの担任が受け持ち、社会、算数、理科、音楽、図工、家庭科、体育、GSを分けて学年の担任と専科教員が教えています。

教科担任制について子ども達に聞いてみると「学年の全ての先生と接することができてうれしい。」「いろいろな先生が工夫した教え方で教えてくれるので楽しい」「今までは他のクラスが楽しそうに見えることもあったが、いろいろな先生が入って、自分のクラスも盛り上げてくれるのでうれしい」といった概ね好評価でした。心配なことは「各教科で個別に課題が出たりすると宿題が多くならないか心配。」「全ての教科が同じ先生ではないのでノートのとり方等、教科によって全然違うので大変」などでした。

教科担任制は中学校の授業形態の先取りではありますが、担任にも多くのメリットがあります。「同じ授業を繰り返す事で、前の授業のいたらなかったところを反省し、すぐにやり直せるので授業力が向上する。」「指導する教科が少なくなるので教材研究の時間が短くなり、その分1教科を深く研究することができ、質の高い授業ができるようになる。」「学年の他クラスの児童を教えることができるので、担任しているクラス以外の児童を覚え、声をかけやすくなり、生活についての指導もしやすくなる。」などです。

最大のデメリットは、何といても時間割を組む時の複雑さです。中学校のように児童に対して多くの教員が配置されているわけではないので時間割が複雑になってしまいます。担任も児童も移動は大変です。

今年の学校の重点目標は「やる気を育む日進北小」「授業が楽しい日進北小」です。いくつか参観した授業を紹介します。6年の社会科です。前の時間に児童の書いた未来予想図（〇歳で大学に入学、〇歳で仕事に就き、〇歳で大臣になるなど自分の将来を予想したもの）を使い、全ての未来は憲法で保障されている（進学の自由、職業選択の自由、政治に参加する自由など）ことを見つけだし、日本国憲法について調べようという意欲を高めていくものでした。子どもの生活経験に身近な課題を設定することで、憲法が自分の未来に直結することを実感として理解することができていました。

体育の走り幅跳びの授業では、やみくもに繰り返し跳んで練習するのではなく、めあてを持って跳ぶ練習をすることを意識させていました。遠くに跳ぶにはリズム良く跳ぶことが大切であることに子ども自身が気づき、めあてとしていました。このような授業を通して、どんな運動でもめあてを意識し、考えながら練習することの大切さを子どもは学んでいきます。

本年度はいろいろな学年の授業をホームページでお知らせしていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、大型連休中ですが感染症対策には十分留意して楽しくお過ごしください。